

脳血流 SPECT 検査予約説明書

様

ID

担当医:

検査予約日

年 月 日 () : から検査を行います。

※検査当日はこの用紙を持って総合受付に検査の **15 分前**までにお越し下さい。
緊急検査等により、検査開始時間が遅れる場合がございますので、ご了承ください。

《注意事項》

予定日を変更、あるいは取り消される場合は遅くとも**2日前**までに下記までご連絡下さい。

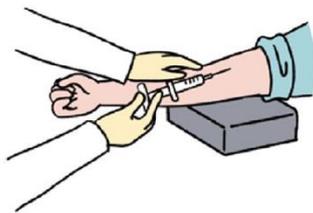
食事は普段と変わりなくお召し上がりください。

《検査説明》

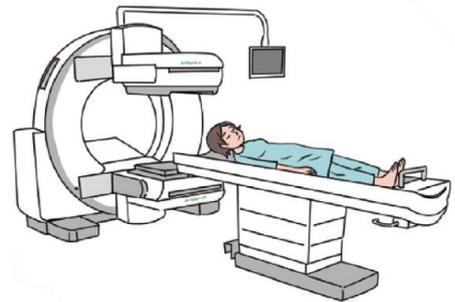
この検査は脳の血流状態をみる検査です。

お薬を腕に静脈内注射し、直後に撮影を開始いたします。

検査はベッドの上に仰向けに寝ているだけで、約 30 分程度で終わります。

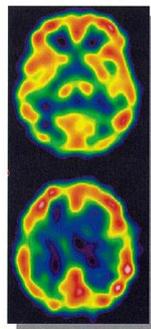


直後

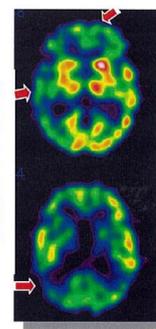


《脳血流シンチってどんな検査?》

脳の血流状態や脳のはたらきをみる検査。
脳の形態を見るエックス線 CT や MRI ではとらえられない早期の脳血流障害の検出、
神経症状の責任病巣の検出、
脳の機能評価などに有効な検査です。

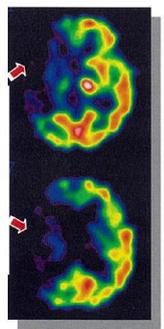


正常な脳血流 SPECT 像



血流低下部位 (矢印)

アルツハイマー病の脳血流 SPECT 像



梗塞部位 (矢印)

脳梗塞の脳血流 SPECT 像

検査に対してのご質問、またはご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。

秀和総合病院 放射線科(RI)受付

048-737-2121(代表) 内線 6005(内線)

脳血流シンチグラフィは、放射性同位元素という目印を付けた検査薬を使って、脳の血流状態やはたらきをみる検査です。

1 脳血流に異常がみられる病気

脳は体の動きや感覚、記憶や思考など様々な役割を担う臓器であり、血液から供給される酸素や栄養素を大量に必要とします。脳血流に異常がみられる病気はさまざまあります。脳の血管が詰まったり破れたりする「脳血管疾患」としては脳梗塞、脳出血、クモ膜下出血などがあり、脳神経細胞の機能低下や脱落が原因となる「神経変性疾患」として認知症などがあります。その他にも精神疾患やてんかんなどがあります。

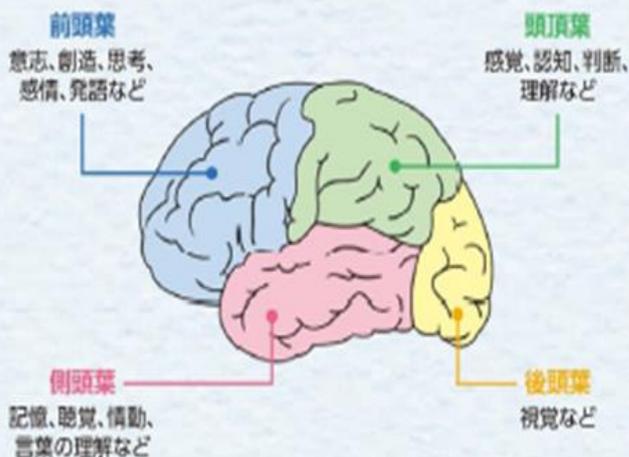
2 脳血流シンチグラフィとは

脳の各部における血流状態や脳のはたらきをみるための検査です。脳の形態を見るX線CTやMRIではとらえられない早期の脳血流障害の検出、神経症状の原因となる領域の検出、脳の機能の評価などに有効です。

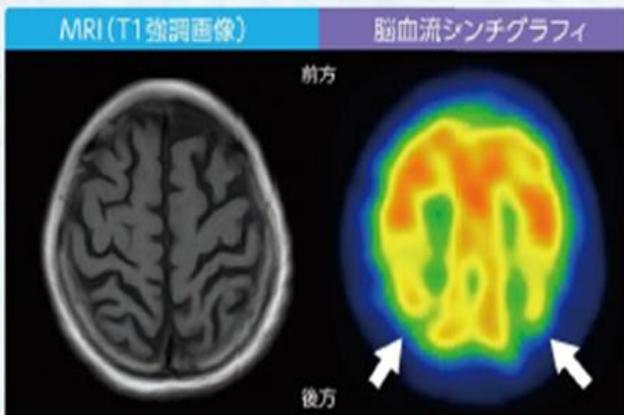
3 検査の安全性について

日本の場合、日常生活における自然放射線による被ばく線量は、年間約2.1mSv(ミリシーベルト)です。脳血流シンチグラフィ検査1回あたりの被ばく線量はおよそ3.1~7.1mSvであり、健康被害の心配はないと考えられる線量です。

● 大脳の部位と主なはたらき



● 認知症(アルツハイマー型)の例



左のMRIでは異常はないが、右の脳血流シンチグラフィでは頭頂葉において血流が低下していることがわかる。(白矢印)